

尻花町内新聞

少年消防クラブ

入退団式を行う

3月13日(土)、午前10時より、町内集会所において、少年消防クラブ員33名他47名が出席して、入退団式が行われました。安藤さん(育成会)の司会の開会、赤井町内会長の開会の挨拶、来賓(赤井直泰白石分団)の挨拶と続きました。



4年生から6年生の子ども達33名が参加して開催された入退団式(写真上)と当日参加した4年生5人(写真下)



次に、退団員(6年生)を代表して、大西君に西消防署の太田さんより記念品が渡され、続いて、当日出席した5人の新入団



6年生には記念品が贈られる

発行責任者 赤井和彦
編集責任者 楠木忠司

員(4年生)一人ひとりに、バッチと手帳が手渡されました。続いて、5年生を代表して笠原君と若狭さんの2人から力を込めて「誓いの言葉」が述べられました



誓いの言葉を読み上げる笠原君と若狭さん

次に、西消防署の太田さんより、防火についてお話がありました。最後に、太田育成会会長より閉会の挨拶があり、10時25分に少年消防クラブの入退団式は終わりました。参加された皆さん、ご苦労様でした。

防火教室に80人が参加!

防火教室は3月13日(土)、少年消防クラブ入退団式に引き続き、午前10時30分過ぎよりききょう公園で、約80人が参加して開催されました。

まず、参加者は起震車での地震体験、震災工作車の説明、消火器の取扱い訓練の3班に分け、順番にまわりました。起震車では、阪神淡路の大地震を体験し、机の下にスムーズに避難できる、中々うまく避難できない人もいました。中には、家族連れで参加していた方もいました。



お母さん達も阪神淡路大震災を体験

震災工作車では、積み込んでいる用具の説明や

救助の際の縄の縛り方など見学しました。

消火器の取扱い訓練では、水消火器を使って取扱いの訓練を行いました。

まず、取扱いの説明を受けた後、3組に分かれ、火災に見かけたコーンに向けて放水しました。最初は尻込みする子もいましたが、多くの人が放水に参加していました。約40分で一通りの訓練が終わり、編集委員会が

岡山市消防団西地区方面隊

第1回線法訓練大会を開く!!

3月14日(日)、撫川グラウンドにおいて、20分団(自動車ポンプの部9分団、小型ポンプの部11分団)が参加して開催されました。白石分団は、小型ポンプの部で2番目に出場し、よく頑張りましたが、惜しくも岡山市の大会には出場できませんでした。

これからも訓練を重ね、頑張ってください。



震災工作車の用具の説明を受けました

準備した綿菓子も振る舞われ、いつもの通り、長い列ができていました。昼前には全ての日程が終了し、後片づけをして解散しました。



小型ポンプの部に出場した白石分団チーム、見事な出来映えでした

幼稚園、小・中学校で卒業式が行われる

厳粛な中にも盛大に開催!!

陵南小学校の卒業生は145人

陵南小学校の卒業式は、3月17日(水)、卒業生・在校生455名を始め、保護者、来賓の方々が出席し、開催されました。開会のごときは、国歌斉唱に続き、卒業証書授与に移りました。

一人ひとりの名前が呼ばれ、「ハイ」と、元気な返事をし、舞台上上がり、中井校長より、145名の卒業生に卒業証書

中井校長先生から一人ひとりに卒業証書が渡されました



が手渡されました。

次に、中井校長から「145名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう」

「創立30周年という節目の年に、最高学年として、自らを律しながら、友達や在校生のために力を尽くした皆さんの姿は忘れることができません」

「人は、自分の願ったようになると言われていません。これから先の人生、

まず、皆さん一人ひとりが、なりたい自分を描き、自分から一歩踏み出さなければなりません。夢は突然叶うものではなく、繰り返される日々の積み重ね。しかし、昨日とは少し違う今を積み重ねる先に皆さんの未来があり、夢の実現があるのです」と、式辞が述べられました。

続いて、来賓を代表



式辞を述べる中井校長

して、教育委員会、板野PTA会長よりお祝いとはなむけの言葉が述べられました。

続いて、卒業生、在校生の別れのごときは、卒業生全員が舞台前の階段に整列し、思い思いに6年間を振り返り、在校生や地域の人、先生にお礼を言い、在校生からお別れのことがありました。約1時間で無事卒業式



お別れの言葉を述べる卒業生

は無事終了しました。その後、保護者と一緒に4・5年が作ったアーチをくぐり、校門付近では別れを惜しんだり、記念写真を撮っていました。なお、花尻町内の卒業生は24名でした。おめでとうございました。

陵南幼稚園の卒業園児は85名

3月18日(木)、10時より陵南幼稚園の卒業式が行われました。

拍手に迎えられ、卒業する園児が入場し、着席しました。まず、西村園長より一人ひとりに卒業証書が手渡されました。名前を呼ばれる毎に元気な声で返事をしています。続いて、西村先生より

名前を呼ばれ、園長先生より園児一人ひとりに卒業証書が渡されました



校門付近では記念撮影をしたり、別れを惜しんでいました。



「2月に皆さんと一緒にシュリエット劇場を見に行きました。その時のお話は花咲山、小さい子に優しくした女の子の心の中に小さなお花が咲きました。少し怖いことでも勇気を出して立ち向かった男の子の心の中にもお花が咲きました。陵南幼稚園のお友達の中にも、色々なきれいなお花が咲いていると思います。そして、4月からは1年生になります。幼稚園と一緒に遊んだお兄さんやお姉さんが皆さんを待っています。今度は、小学校に行って、きれいなお花、元気で強いお花をもつと咲かせて下さい」と、西村園長より、お祝いの



お祝いのことばを述べる西村園長先生

ことばがありました。続いて、来賓を代表して、中井陵南小学校長より、お祝いのことばがあり、次に、園児によるお別れの歌と言葉、年少の園児よりテープでのお別れのごときは、そして、卒業園児より歌と言葉でお別れました。

最後に、保護者を代表して堀内さんより挨拶がありました。外は少し雨だったため、軒先に、来賓や先生で作られたアーチを保護者と一緒にくぐり、新しい門出を祝いました。



アーチをくぐる卒業する園児や保護者

吉備中学校の卒業生は295人

吉備中学校の卒業証書授与式は、3月16日(火)10時より、卒業生は295人を迎え開催しました。国歌・校歌斉唱に続き、担任の先生より一人ひとりに卒業証書が手渡されました。



式辞を述べる山本学校長

次に山本校長より、「『テンデシノギ』という言葉があるそうです。意味は『人の手を借りず、自力で困難に対処する』とのこと言うようです。辞書にも載っていないこの言葉が、昔テレビドラマで使われたことを知りました。絶版になってい



担任の先生より一人ひとりに卒業証書が渡されました

るそのシナリオを取り寄せました。こんなふうに使われていました。冬の日本海は厳しく沖に出る舟は、みんな『テンデシノギ』です。他の舟を助けることは出来ません。私たちも『テンデシノギ』なのです。私たちの国は今、未曾有の経済危機の中にあつて、働こうとしても働くところがないなど、私たちの社会はまるで冬の日本海、『テンデシノギ』の海であります。皆様方はそんな荒海に出ていかなければなりません。こうゆう時代だからこそ、卒業という人生の節目を迎えた皆さん、今後のあり方

をしつかり見つめ、新しいスタートを切って下さい。」との式辞が述べられました。

続いて、教育委員会祝辞、PTAはなむけのこたばが述べられました。次に、在校生を代表して、高木君より送辞。それに応え、卒業生を代表して井上さんより答辞が述べられました。

次に、卒業の歌、閉会の挨拶があり、約1時間の

学区体協主催 卓球大会で花尻優勝

3月7日(日)、陵南小体育館において、A・B両リーグ14チームが参加して、第29回卓球大会が開催されました。

試合方法は、シングル4試合、混合ダブルス1試合の5試合で行い、早く3試合を勝ったチームが勝となります。花尻チームはBリーグに出場し、まず、中平野チームに3対2で勝ち、次に吉備ネオポリスチームにも3対2で勝ち、決勝戦に進みました。対戦相手は強豪の白石



卒業生を代表して答辞を述べる井上さん

で卒業式は無事終わり、拍手に送られ卒業生が退場しました。



体協最期の行事、卓球大会で優勝を飾った選手のみなさんです

西チームこれも3対2で勝ち、見事優勝しました。参加された選手の皆さん、お疲れ様でした。本年度の体協行事はこれで終わりとなります。1年間、ご協力有難うございました。

新人戦・お別れ試合が開催される

去る3月7日(日)、陵南小学校にて、ソフトボールの学区新人戦が行われ、4チームが出揃い、それぞれ熱戦を点火しました。また、午後からは雨の降る中、6年生のお別れ試合が行われ、

編集委員会に参加しませんか!!

編集委員会とは、毎月発行している町内新聞の編集や印刷、町内会HPの作成や更新、また、学区のHPの更新や学区や町内の行事予定をオニビジョンへの登録、防犯パトロールへの参加、そして、町内会の夏まつりや秋まつり等のイベントには深く関わり、夜店などを担当しており、夜店の技術集団でもあります。たまた、写真のような全て手料理での反省会を行うなど、お互いの親睦と交流を深めています。編集委員は現在、10名程度で活動をしています。

興味のある方は是非、ご連絡下さい。性別、年齢、町内外は問いません。問い合わせは次の通りです。【お問い合わせ先】 ☆楠木忠司宅まで ☆電話 二五四一五九七八

花尻ソフトボールチーム集合写真撮影



6年生と5年生とが力を競い合いました。悪天候の中、ご苦労様でした。



次の行事に向け協議する編集委員会

素晴らしい演奏、見事な出来映えの展示作品に驚く！

去る3月7日(日)、午前10時よりコミュニティハウスにおいて、婦人会主催の友愛訪問が関係者約200人が参加して盛大に開催されました。

友愛訪問は、70才以上の寝たきりの方、一人暮らしの方をお招きして行われたものであります。

開会式は三吉副会長の司会で始まり、米山会長、来賓の挨拶と続き、開会式は終わりました。続いて演芸プログラム



花尻同好会の銭太鼓。素晴らしい演技に大きな拍手

に入り、最初の出し物は、「大正琴」で、素晴らしい音色に聞き入っていました。次は、花尻同好会の「銭太鼓」この度は6名で参加し、3曲を披露し、息のあった演技に大きな拍手がありました。次は「謡」と「詩吟」謡の意味を説明した後、素晴らしい喉を披露して頂きました。次は「民謡、わかさの皆さん、揃いのゆかたで、4曲を所狭しと踊りました。プログラム5は、婦人会の皆さんによる



玄関や階段、踊り場には展示品が飾られていました

コーラス、「みんなのころに」と「四季の歌」が披露されました。最期は、ハワイアンフラ、揃いの衣裳で素晴らしいダンスを4曲披露しました。

一方、玄関や階段、2階の踊り場には所狭しと写真や書道、生け花、絵手紙、石絵、編み物、アートフラワー、パッチワーク等々が飾られていました。その出来映えはとも見事なものでした。

昼食は婦人会の方が作られたおにぎりや豚汁が配られました、みんなで美味しくいただきました。



婦人会の手作りの料理をとても美味しくいただきました

防犯パトロールを行う安全・安心の地域を！

3月の防犯パトロールは3月20日(土)に行いました。

この度の当番は、みどり町と体協役員の皆さん7人が参加しました。

午後8時過ぎに、ききょう公園を出発し、町内を一巡しました。

地道な活動ですが、地域の安全安心を守るためには必要といえます。

当日参加された皆さんご苦労様です。

次回は5月15日(土)、担当は本町と育成会役員です、宜しくお願い致します。

つぼみ会 楽しかった卒会でした

2月28日(日)、午前10時より吉備公民館にて、第21回陵南つぼみ会卒会が行われました。

主催者挨拶、来賓挨拶の後、子ども達の演技に



可愛い出し物に大きな拍手が起こりました

入りました。

今年の「はとぼっぼ班」の竹之下桃花ちゃん、山河詩歩ちゃんの2名のため、白石の「なかよし班」のお友達1名と合同で「チャンス・さらりんレボリューション」[Happy together!]の2曲をかわい衣装で踊りました。

子ども達は緊張しながらも一生懸命練習した成果を披露しました。

役員の交代も行われ、新会長の東花尻の松尾さんが挨拶しました。

来期は「はとぼっぼ班」は会員減少のため、白石

町内会総会のご案内

平成22年度町内会総会は、4月10日(土)、午後7時より町内集会所で行います。代議員、町内会役員の方は出席して下さい。もし、どうしても出席できない代議員の方は各ブロック代表理事(副会長)に申し出て、代議員を交代して下さい。



防犯パトロールに出発する参加者の皆様

の「なかよし班」と合同で月2回火曜日 白石公会堂で活動します。お問い合わせは「はとぼっぼ」代表の吉田さんまで。たくさんさんの親子のご参加をお待ちしています。